

授業科目(ナンバリング)	スポーツマネジメント (CC301) (実践的教育科目)			担当教員	宮良 俊行 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	3年・前期	必修・選択	選択 (コース必修)
授業のねらい							アクティブ・ ラーニング の類型
グローバル化している日本社会において、企画できる能力が非常に求められている。また、マネジメント力をつけることは、団体・組織のリーダーになる上で必要不可欠である。これらのことは、スポーツ振興策においても同様である。ディスカッションやグループワークを通じて、地域のスポーツ振興に寄与するスポーツ教室や各種スポーツ事業を計画・立案しプレゼンテーションできるようになる。特に自分の出身地などのスポーツ振興に関する企画、立案を授業の中で展開していく。							④⑤⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
専門力	地域の事情と関係づけることができ、スポーツ振興に関する企画をたて、プレゼンテーションすることができる。			・受講者の発表		40%	
情報収集、分析力	学生としてふさわしい態度で、意欲的に授業に取り組む。他人に自分の考えまとめ、表現することができる。スポーツに関連する社会的課題を収集し、分析することができる。スポーツに対する様々な見方、考え方を理解することができる。			・受講者の受講態度 ・課題レポート		30% 30%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席				受験要件			
合計				100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
スポーツ振興に関する課題レポート(評価比率30%)を与えるので、企画書(事業計画書)を作成し、約5分間のプレゼンテーションを課す。(評価比率40%)この2点で評価する。課題レポートに関しては、ポートフォリオを使ってフィードバックする。グループでのディスカッションやグループワークが多くなるので、協調性のない受身的な授業態度は大幅な減点を課す。(評価比率30%)							
授業の概要							
本講義では、県立の運動施設において指定管理者を経験した講師が、指定管理者申請に必要な企画書作成やプレゼンテーションのノウハウを教授する。また、「スポーツマネジメント」の基礎的な理論を踏まえた上で、自分の出身地や佐世保市のスポーツ振興について、様々な資料から5年後、10年後を予想し、企画書を作成する。また、プレゼンテーション能力を身につける。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書:特になし。講義内において適宜プリントを配布する。参考書:特になし。 指定図書:「よくわかる スポーツマネジメント」2017 柳沢和雄、他 ミネルヴァ書房							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・本講義の受講生は、原則「スポーツ社会学」→「地域スポーツ」→「スポーツマネジメント」の履修モデルに沿って受講する履修者とする。※履修者数を40名程度と想定している。スポーツツーリズムコースの必修科目である。 ・「マネジメント」に関する本を読むと共に、新聞等を読んだり、実際にスポーツに関わったりすることにより、スポーツ界の動向について常に関心を持っていただきたい。 							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	スポーツとマネジメント	本講義の目的や内容、全体の構成について説明する。また「スポーツマネジメント」の概要について解説する。	予習：本学図書館からスポーツマネジメントに関する本を1冊借りて読んでおく。 復習：「スポーツマネジメント」の概要について確認する。
2	地域におけるスポーツ振興方策と行政のかかわり	スポーツマネジメントに求められるマネジメント理論の全体像を解説する。	予習：スポーツがマネジメントしている組織を調査する。 復習：地域におけるスポーツ振興方策と行政のかかわりについて確認する。
3	地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」	日本におけるスポーツ施設の現状について説明する。	予習：スポーツ施設の現状について資料を調べてくる。 復習：「スポーツ少年団」について確認する。
4	スポーツ組織のマネジメントと事業のマーケティング①	スポーツマーケティング論におけるスポーツ施設の市場としての展望について説明する。	予習：スポーツ施設のマネジメントの段階的進展と見通しについてまとめる。 復習：スポーツマーケティングについて確認する。
5	スポーツ組織のマネジメントと事業のマーケティング②	指定管理者制度の解説と施設管理・運営のノウハウについて説明する。	予習：スポーツ施設管理・運営者の姿勢と指定管理者に必要な資質についてまとめる。 復習：指定管理者制度について確認する。
6	総合型地域スポーツクラブの必要性和社会的意義	スポーツビジネスをめぐる法的問題等について説明する。	予習：トップアスリートとスポーツ施設の状況についてまとめる。 復習：スポーツビジネスをめぐる法的問題について確認する。
7	総合型地域スポーツクラブの育成と運営①	総合型地域スポーツクラブを説明する。また、総合型地域スポーツクラブの課題とスポーツ施設との関係について解説する。	予習：総合型地域スポーツクラブがスポーツ施設を管理している事例を調べる。 復習：総合型地域スポーツクラブについて確認する。
8	総合型地域スポーツクラブの育成と運営②	総合型地域スポーツクラブを説明する。また、総合型地域スポーツクラブの課題とスポーツ施設との関係について解説する。	予習：総合型地域スポーツクラブがスポーツ施設を管理している状況を調べる。 復習：総合型地域スポーツクラブの課題について確認する。
9	スポーツ事業のプロモーション①	地域スポーツの活性化に重要な役割を担う学校体育施設について解説する。	予習：学校体育施設の現状を把握する。 復習：学校体育施設の現状について確認する。
10	スポーツ事業のプロモーション②	わが国における職域としてのスポーツマネジメントと施設の関係について説明する。	予習：職域としてのスポーツ施設を調べる。 復習：スポーツ事業のプロモーションについて確認する。
11	我が国のスポーツプロモーション①	地域に存在する多様なスポーツ組織について、スポーツマネジメントの視点からそれぞれの意義や構造およびスポーツクラブの育成方法と運営上の留意点を取り上げる。	予習：スポーツ組織の機能を調べる。 復習：スポーツクラブの育成方法と運営上の留意点について確認する。
12	我が国のスポーツプロモーション②	スポーツ事業におけるマネジメントの機能と各々の事業に適したマネジメントの手法、特にプログラムサービス事業とクラブサービス事業について説明する。	予習・復習：事業計画書を作成する。
13	スポーツ事業の計画・運営・評価	スポーツ事業におけるマネジメントの機能と各々の事業に適したマネジメントの手法、特にプログラムサービス事業とクラブサービス事業について説明する。	予習：事業計画書を作成する。 復習：事業計画書を完成させる。
14	事業計画書作成・プレゼンテーション (1)	企画書提出、プレゼンテーション	予習・復習：プレゼンテーションの練習を5～10回実施してくる。
15	事業計画書作成・プレゼンテーション (2)	企画書提出、プレゼンテーション	予習・復習：プレゼンテーションの練習を5～10回実施してくる。